

## シラバス情報

授業方法	講義・実験・(実習)		
系列	実習		
科目名	電装整備		
必修・選択	(必修科目)・選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	2年前期	月～水曜日	1時限～8時限
時限数	106.4時限(期末試験を除く)		
担当教員名	野尻 裕朗・川向 芳子・(他1名)		
実務経験	(有)・無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる電装品の構造・点検及び実車からのスタート・オルタネータの脱着作業についての実習を実施する。		
授業の目的	1年生での実習内容の復習 実車を使用してのスタート・オルタネータ脱着作業の習得		
テキスト	①実習テキスト(学校編集) ②三級自動車ガソリン・エンジン (日本自動車整備振興会連合会 発行) ③二級ガソリン自動車・エンジン編 (日本自動車整備振興会連合会 発行)		
授業計画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト範囲
第1回	スタート・モータ分解・組立て・点検	点検・測定 回路・作動の習得	①、②、③
第2回	オルタネータ分解・組立て・点検	点検・測定 回路・作動の習得	①、②、③
第3回	ボルテージ・レギュレータ	回路・作動の習得 故障状態の確認	①、②、③
第4回	実車スタート・オルタネータ脱着1	注意点レポート ジャッキアップ注意点レポート	①、②、③
第5回	実車スタート・オルタネータ脱着2	注意点レポート	①、②、③
第6回	実車スタート・オルタネータ脱着3	注意点レポート	①、②、③
第7回	実車スタート・オルタネータ脱着4	注意点レポート バッテリ点検CCAテスト	①、②、③
	ステップ試験(中間試験)	第1回～第7回までの授業内容に関する実技試験	別途課題
到達目標	スタート・オルタネータの点検・回路を習得。 実車でのスタート・オルタネータ脱着作業・注意事項を習得。		
授業の目的	整備を行う上で必要となるオシロスコープ・ハイブリット自動車の取り扱いの理解及び電装品の構造・脱着作業の習得。		
テキスト	①実習テキスト(学校編集) ②三級自動車整備士(総合) (日本自動車整備振興会連合会 発行) ③二級自動車整備士(総合) (日本自動車整備振興会連合会 発行)		

授業計画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト範囲
第8回	オシロスコープ ハイブリッド	実車を使用しての取り扱いの注意点を説明	①、②、③
第9回	①定電圧回路、②スイッチング回路 ③ベンチエンジン（オシロスコープ）	①・②ボード上に回路作成・測定 ③オシロスコープを使用して測定	①、②、③
第10回	①定電圧回路、②スイッチング回路 ③ベンチエンジン（オシロスコープ）	①・②ボード上に回路作成・測定 ③オシロスコープを使用して測定	①、②、③
第11回	①定電圧回路、②スイッチング回路 ③ベンチエンジン（オシロスコープ）	①・②ボード上に回路作成・測定 ③オシロスコープを使用して測定	①、②、③
第12回	①ハイブリッド ②エアコン ③P/Wレギュレータ脱着	①低压電気回路説明・測定 ②実物をスケッチ・役割・名称 ③実車よりP/Wレギュレータ脱着・スケッチ	①、②、③
第13回	①ハイブリッド ②エアコン ③P/Wレギュレータ脱着	①低压電気回路説明・測定 ②実物をスケッチ・役割・名称 ③実車よりP/Wレギュレータ脱着・スケッチ	①、②、③
第14回	①ハイブリッド ②エアコン ③P/Wレギュレータ脱着	①低压電気回路説明・測定 ②実物をスケッチ・役割・名称 ③実車よりP/Wレギュレータ脱着・スケッチ	①、②、③
	ステップ試験（中間試験）	第8回～第14回までの授業内容に関する実技試験	別途課題
	期末試験	第1回～第14回までの授業内容に関する実技試験	
到達目標	整備を行う上で必要となるオシロスコープ・ハイブリット自動車の取り扱いの理解及び電装品の構造・脱着作業の習得。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30%</p> <p>期末試験の点数 40%</p> <p>平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		